

議会報告会での意見・要望等
【分類２であり、類似のものは集約】

○空き地・空き家に関すること

- ・地域でも大きな問題である空家対策は、早期に実現してほしい。
【三川、大正小、労福】
- ・空家対策で、大牟田市が空家対策協議会を設立したが、大牟田市居住支援協議会「大牟田住みよかネット」と法律上同じものであるので、一元化してほしい。【三池】

○学校・教育に関すること

- ・義務教育は、同一環境で行われることが基本と思うが、体育館など施設面において新しいもの古いものと、相違がある。このような現状から、同一教育環境と言えるように整備してほしい。【大正小】

○学校跡地に関すること

- ・再編後の中学校跡地等の維持管理費が懸念されるので、跡地を有効活用してほしい。【手鎌】
- ・大牟田北高校跡地は、県管轄であるが市としての考え方を示し、早期活用、有効活用をしてほしい。【手鎌】

○学校再編に関すること

- ・勝立中と米生中の学校再編に伴い、２年前に教育委員会の説明会でスクールバスを出してほしいと要望したが、再編まで 10 か月となっているが、通学方法が不明である。
一番安全なのは、スクールバスだと思うが、はっきりとした見通しを示してほしい。【勝立】
- ・障害がある児童とそうでない児童が同じ学校で学ぶことにより、互いの認識が深まり学び合うようになる。そのような環境を持つ学校としての、大正小、松原中の小中一貫校を検討してほしい。【大正小】
- ・学校までの距離が長いことが不登校の要因の一つとされるなか、交通の便が良い松原中学校は、もっと市民の声を聞いて、市民と一緒に話し合

いをして、考えてほしい。【大正小】

- ・学校再編事業の推進に当たっては、市当局（教育委員会）と現場（先生・児童生徒）との意思の疎通を十分に図ってほしい。さらに、現場にしわ寄せがないようにしてほしい。【労福】
- ・学校再編で、駛馬南小学校と駛馬北小学校が地域協議で再編されることになっている。再編に伴い通学路問題として登下校時の安全・安心の確保が重要であるので、その対策・対応を図ってほしい。

また、雨・風が強いときは、スクールバスを出してほしい。【駛馬】

○環境・衛生に関すること

- ・現在、草は有料ゴミ袋に入れて出し、木の枝はそろえて出しているが、草も木の枝の取り扱いと同様に透明な袋で出してもいいように検討してほしい。【三池、労福】
- ・人口島に飛来しているベニアジサシ等の保全する必要があるのか、疑問である。

絶滅危惧種は、ベニアジサシ等だけではなく、ベッコウトンボ等も生息しているので、保全のためビオトープを整備してほしい。【手鎌】

- ・震災がれきの分別するため、ごみリサイクルの分別をもっと細かくしてほしい。【手鎌】

○交通・開発に関すること

- ・新大牟田駅周辺については、いまだ他駅に比べれば遅れている。病院、ホテル、スーパーの設置など周辺をどうするか方向性やプランを明確にしてほしい。【吉野】
- ・大牟田北線（県道）バイパスを早く進めてほしい。【吉野】
- ・上内は、農道もないところもあり、基盤整備を進めてほしい。【吉野】
- ・南関・大牟田線のバイパス工事については、福岡県が実施するかどうかの調査に入ったとのことであるので、大牟田市も関心をもって対応してほしい。【吉野】
- ・高齢者等に対する病院、買い物等の対応が不十分であるので、地域を巡回するコミュニティバス等を検討してほしい。【三川】

○子ども・子育てに関すること

- ・子どもたちを見ていくには費用等がかかるのに、ボランティアの方々の負担は増加しているので、子どもの居場所等にかかる補助金の増額をしてほしい。【大正小】
- ・子ども支援の充実を図るため、経済的理由で保育園・幼稚園に通えない子供への対策を講じてほしい。【労福】
- ・生活困窮者対策として、子供食堂への支援拡大に努めてほしい。
【大正小】
- ・子育て支援における子ども医療費支給制度は、子供を呼び込むことによる定住施策として有効であると思うので、制度の充実を検討してほしい。
【駛馬】

○地域コミュニティに関すること

- ・まちづくり協議会の組織率強化や防災対策の観点からも、公民館やまちづくり協議会への加入促進や対策を推進してほしい。
【吉野、手鎌】
- ・まちづくり協議会への補助金は、丸投げ状態である。校区でさまざまな取り組みをしているため、その取り組みに対して補助金を出してほしい。
【吉野】
- ・地域コミュニティ、地域連携の持続と高齢化の関連では、自助、共助だけでは立ちいかなくなっている側面もあるのではないか。【三川】
- ・防犯灯の新設（50%補助）・更新（40%補助）時における（水銀灯からLEDに取り換え時など）、自治会等の負担軽減対策をしてほしい。（更新時の負担は、新設時と同様の行政負担をしてほしい。）【手鎌】
- ・勝立地区公民館の改修・改善・耐震化をしてほしいとこれまで要望したが、まったく改善がされていない。

断水時、この地区公民館に給水車が来た際、道路が狭く給水を受けに来た人たちの自動車で身動きが取れなかった。

地区公民館は、災害時の拠点なので、早急に改善をしてほしい。

【勝立】

○人口減対策に関すること

- ・人口減少社会対策として、ふるさと納税 15 億円の財源を活用して保育費無料などに取り組んでいる自治体もある。子育て世代が増えるような活性化対策をしてほしい。

また、本市は、ふるさと納税の品目は増えたが、ふるさと納税を何に使うかなど、目的をPRし協力者を増やすなど工夫してほしい。

さらに子育て世代へ空き家の利用などを推進（居住者支援協議会との連携）してほしい。【吉野】

- ・都市計画や地方創生戦略について、自治体にリーサスやGISなどの情報を出している。地域経済システムのデータを活用して、10年後、20年後どうなるか。行政は、良い面、悪い面を参考にして、市民に情報を提供し地域で考えて工夫する努力をしてほしい。【吉野】

○世界遺産・観光に関すること

- ・大牟田市は、世界遺産で湧いているが、市の北側には甘木山を中心に遺跡などいろいろな遺産がある。地元の歴史を掘り起して、子供たちに郷土の誇りを植え付けていく活動を今後も継続していきたいので、子供たちを安全に誘導するための案内板を設置する費用などの市から助成をしてほしい。【吉野】
- ・学者などの意見の中には、世界遺産は観光資源にはならないとの意見もあるので、延命公園・延命動物園等・自然遺産などを活用した観光にしてほしい。【手鎌】
- ・市のホームページは、世界文化遺産の情報スペースが少ないので、もっとホームページの充実をしてほしい。【三池】
- ・世界遺産や三川坑の整備は費用対効果の面で疑問であり、維持管理に多額の費用がかかるなら他の事業に使ってほしい。【手鎌】
- ・世界遺産施設をもっと海外にアピールしてほしい。海外からの観光客については、他市の観光対応など参考にして取り組んでほしい。

【手鎌】

○道路・河川に関すること

- ・倉永小学校は、指定避難所になっているが、西鉄の踏切からは大型車の進入ができないので、何らかの対策を検討してほしい。【吉野】

- ・7月の大雨では、神田脇一帯で洪水し、床上、床下、車両破損があった。避難準備情報では、どのように対応されているのか知りたい。また、河川の増水は、葦などの繁茂が悪影響を及ぼしているなので、その除去対策をしてほしい。【三池】
- ・手鎌南川の調整池の問題・河川拡張の実施スケジュールを明確にしてほしい。【手鎌】
- ・通学路の安全対策を早急に実施してほしい。マルエイから勝立中学（櫟野）までの通学路は、とにかく危なく、特に夜や雨の日は危険である。【勝立】
- ・東萩尾地域では、防空壕の関係で側溝の陥没が多く、蓋もない。
また、防空壕の跡には水が入り、陥没が進んでいることや地盤沈下が起こっていることについては、防空壕の調査・報告を国にするようになっていると思うが、危険であるので対策をしてほしい。【勝立】

○福祉に関すること

- ・生活保護受給者の夏の暑さ対策が市としてあるのか、無ければ早急な対応をしてほしい。【三池】
- ・福祉委員をしているが、要支援1・2が「新しい総合事業」に変更になると、ボランティアで責任は取れないので、介護事業の適正化をしてほしい。【三池】
- ・先日、発生した障害者施設の事件が起こる背景には、障害者に対する偏見や心のバリアなどが原因であると思うので、幼い頃から障害者の方との関わりを持てるような仕組みづくりを考えてほしい。【総福】

○防災に関すること

- ・今年から消防団に災害覚知システムの無線が配備され活躍したが、大規模災害に役に立つことや、さらに、連携がスムーズになるためにも、行政や避難所となる各施設に無線の配備を増やしてほしい。【吉野】
- ・災害時には、物資の仕分けなどでNPO法人との連携システムを構築すべきと思う。
災害情報の伝達方法については、災害弱者や外国人居住者への情報伝達の工夫をしてほしい。（FMたんとでも外国語で情報を流すなど日頃からの取り組みについて要望する。）【吉野】
- ・市庁舎の耐震が最優先課題と思うので、しっかり取り組んでほしい。

【三川】

- ・三川地域では、浸水することがあるので、ポンプ場の増設をしてほしい。

【三川】

- ・災害時の広報車は、聞こえるように工夫してほしい。また、情報伝達の方法についても、学校の放送設備の利用をするなどの工夫をしてほしい。

【三川、三池、手鎌、総福、駛馬】

- ・地震の際、地区公民館に避難をしたが、開設が遅かったので改善してほしい。また、災害時は地区公民館の避難所の対応等は臨機応変にできる仕組みにしてほしい。

【三川、勝立、労福、駛馬】

- ・小学校では、火災訓練は行っているが地震避難訓練は実施されていないので、実施してほしい。【駛馬】
- ・独居高齢者の緊急対応を明確にする為、「連絡先・主治医・薬等」統一用紙を作って民家の分かる場所に置いておく等わかりやすく知らせる工夫などを考えてほしい。【三川】
- ・今年1月16日寒波の際は、全戸断水の発表がなされたが、断水したところと断水していないところがあった。断水の判断は、もっと慎重にしてほしい。【三池、手鎌】
- ・災害時等の伝達の方法については、校区でいくつもの役（民生委員他）を務めているとそれぞれの関係部署から情報が入り、振り回されるため、情報の交通整理をしてほしい。【三池】
- ・今年の大雨時には、通学時間をずらすなどの対応が無かったが、子供たちの安全のために、目を配ってほしい。また、その際の子ども見守り隊への連絡体制についても検討してほしい。【三池】
- ・断水しても大牟田の全小中学校が断水していたわけではないはずなので、市が小中学校のタンクに貯めて配ってほしい。また、異常早期警戒情報をしっかり利用してほしい。【手鎌】
- ・地震の際、バイクでの初期情報収集をしてほしい。【手鎌】
- ・緊急断水時の対応については、なぜ、民生委員だけ招集し対応したのか。緊急時・防災対策は、民生委員だけでは厳しいので、まちづくり協議会等など活用してほしい。【手鎌】
- ・災害時、自主避難所の職員の対応を明確にしてほしい。また、情報入手のためのテレビやラジオ、毛布やひざ掛けなども準備してほしい。【手鎌、勝立】
- ・がけ崩れ対策の要望（笹原2丁目）については、以前からしているが、近年、防護のブルーシートが劣化して破れ、危険であるので、真剣に検

討・対策を講じてほしい。【勝立】

- ・平原小学校は、再編成されても指定避難所として、引き続き使えるようにしてほしい。【総福】
- ・聴覚に障害を持った者は、広報車の音声は聞こえないため、情報を入手する方法について検討してほしい。【総福】
- ・災害弱者の避難先でのスペースの確保などを考えてほしい。【総福】
- ・愛情ねっとへの登録啓発については、もっと推進してほしい。

【大正小】

- ・災害時には、防災無線をうまく活用して正しい情報が正確に伝わるようにしてほしい。【大正小】
- ・大正校区周辺の地域は、地盤も悪く海拔も低い。そのような地域の災害時の避難所として、小中学校をしっかりと残してほしい。【大正小】
- ・断水などが実施される場合は、それに対応する準備も必要なので、その可能性が発生した時点で情報発信をしてほしい。【大正小】
- ・災害時の避難者に対する食糧の備蓄完備の目標は、平成 33 年となっているが、できるだけ早い時期で達成してほしい。【大正小】
- ・地震発生時、どう行動すればよいかマニュアルを作成し、特に高齢者向けに配布してほしい。【労福】
- ・中央地区公民館を避難所としてあるが、収容能力、駐車場不足等の問題があるので、旧上官小学校跡を避難所として指定・整備してほしい。

【労福】

○その他

- ・期日前投票所は、大型商業施設などで行うことを検討してほしい。

【三川】

- ・観光農園をして大牟田市をアピールしたいなど、新しい挑戦をしたい人がある。しかし、都市計画法や様々な法律の規制があり、計画を断念せざるをえない状況であるので、関係法の見直しなど、観光農園ができるような規制緩和をしてほしい。【吉野】
- ・FMたんととのラジオ放送を市民に周知するため、QRコードなどの活用をしてほしい。【吉野】
- ・多くの高齢者が、健康維持のために朝・夕の散歩を行っているので、公園散歩道、安全な場所の確保等の取り組みを検討してほしい。

【三川】

- ・民生委員の手当てを増額するなど、人材の確保について検討してほしい。

【三川】

- ・FMたんとの情報不足ではないか、番組審議会の在り方に疑問があるので、三池海水浴場清掃の事例を挙げ、もっと地域密着型の放送をしてほしい。【三池】
- ・小浜町は、地盤が悪い。軟弱地盤においては、建築許可の基準（特に基礎工事）を現行より厳しくしてほしい。【大正小】
- ・大牟田市職員採用試験が、今年は7月のおおむた大蛇山まつり中に実施されたので、Uターンの可能性がある人材確保のためにも、試験日の変更を検討してほしい。【大正小】

上記の意見・要望等につきましては、市当局に伝えるとともに、真摯に受け止めて善処するよう依頼しています。

また、これらの意見・要望等につきましては、必要に応じて、市議会の常任委員会や特別委員会の場合などで、議員から直接、市当局に考え方等を尋ねたり要望として伝えたりすることになっています。